実務経験のある教員による授業科目　　海洋生物資源学科

No	科目名	単位数	内容
1	化学実験	1	公設試験研究機関や食品会社の研究開発部門、財団法人の研究所で食品分析に従事した経験を有する教員が、食品等の化学分析に関する実習を指導する。
2	海洋生物資源学フィールド演習Ⅰ	2	技術士等をゲストスピーカーとして迎え、それぞれ実務経験を踏まえた講義を実施する。
3	海洋生物資源学フィールド演習Ⅱ	1	練習船の海洋調査士および乗組員が、乗船実習における課題の指導を行う。
4	科学者および技術者の倫理	2	技術士（水産部門・総合技術監理部門）として，水産研究・教育機構において研究開発業務に従事し、公益社団法人日本技術士会においてIPD関連の委員会で活動しており、これらの経験に基づき、科学者および技術者の倫理について講義する。
5	生物学実験	1	地方自治体の試験研究機関において、水産資源生物の採集、食性･成長解析などの業務にかかわってきた職員が実習を行う 。
6	水産資源利用学	2	環境省所轄財団法人研究所で食品の機能性開発に従事した経験を有する教員が、その経験を生かして水産物の利用方法や健康機能性を学ぶ水産資源利用学を講義する。
7	動物生態学	2	水産資源の資源評価業務に携わった業務経験を有する教員が、資源管理を含む全ての授業を担当する。
8	生態遺伝学	2	県の水産技術職員として、資源回復や漁場保全の業務にかかわってきた職員が講義を行う。
9	増養殖統計学Ⅰ	2	県の水産職員（研究職、水産普及指導員、行政職）として、実務で統計学を使い課題解決してきた教員が講義を行う。
10	海洋生産環境学	2	県の水産技術職員として、資源管理や漁場保全の業務にかかわってきた職員が講義を行う 。
11	水産施設工学	2	水産庁、東南アジア漁業開発センター、復興庁、内閣府、(公社)全国漁港漁場協会等で水産施設に係る制度、計画、設計等の業務に従事してきた職員が当科目について講義を行う。
12	海洋生物資源情報論（増養殖統計学Ⅱ）	1	県の水産職員（研究職、水産普及指導員、行政職）として、漁海況調査事業の実務・運営や国のスマート水産業に関する検討会の委員に携わっている教員が講義を行う。
13	食品安全管理論	2	民間食品企業の研究開発部門で食品の研究開発に従事した経験を有する教員が、食品の安全性を管理するための仕組みについて講義を行う。
14	海洋環境工学	2	水産試験研究機関に従事した経験をもつ教員が、公共事業等で実施される漁場整備の概要等を解説する。

No	科目名	単位数	内容
15	水産資源学	2	水産試験場で資源管理担当の研究員として勤務した経験を有する教員が、水産資源の資源動態とその管理方法に関して解説する。
16	食品工学	2	民間食品企業の研究開発部門で食品の研究開発に従事した経験を有する教員が、食品の安全性を管理するための仕組みについて講義を行う。
17	生物資源分析化学	1	食品企業社員が、企業における研究開発と実生産について講義内で触れる。
18	海洋生物資源学特別講義Ⅱ(食品容器・包装論)	1	２９年間、包装容器メーカー（東洋製罐（株））に勤務。製品開発部門、品質管理部門、研究部門、リサイクル設備部門、原料調達部門に在籍し、主にＰＥＴボトルの新製品、新材料、調達、リサイクルに携わった。授業では、容器メーカーや食品メーカー視点からのコメントも随時入れる。
19	食品栄養学	2	環境省所轄財団法人の研究所で食品の機能性開発に従事した経験を有する教員が、その経験を生かして食品栄養学について講義を行う。
20	海洋地質学	2	海洋堆積物を用いた気候変動の研究の実務経験がある研究者（博物館研究員）が、海洋地質学の基礎とその応用としての気候変動学の講義を行う。
21	沿岸生態工学	2	水産試験研究機関に従事した経験をもつ教員が、公共事業等で実施される漁場整備の概要等を解説する。
22	水圏環境学実験	2	独立行政法人、県の教育・研究機関において、フィールド調査、化学分析、群集解析などの業務にかかわってきた職員が実習を行う 。
23	食品流通論 （水産物流通論）	2	県の水産職員として、主に水産流通の業務に携わってきた教員が講義を行う。
24	水産増養殖学概論	2	国立研究開発法人水産研究・教育機構で長年マガキ、アワビ類、ナマコ類、ウニ類の種苗生産や増養殖研究を行うとともに、マガキ他各種二枚貝類の天然採苗を関係する県市や業業者とともに実施してきた経験を有する。
25	地域活性化演習	1	環境省所轄財団法人の研究所で食品開発に従事した経験を有する教員がその経験を生かして、地域特産の食品開発による若狭地域活性化を目指した地域活性化演習を担当する。
26	保全生態学実習	1	県の水産技術職員として資源管理や漁場保全の業務にかかわってきた教員や、独立行政法人の研究開発職員として水産資源の資源評価業務に携わってきた教員が実習を指導する。

No	科目名	単位数	内容
27	食品化学実験	1	環境省所轄財団法人の研究所で食品成分の分析に従事した経験を有する教員が、その経験を生かして食品化学実験を担当する。
28	食品工学実験	1	食品会社の研究開発部門に勤務した経験を有する教員が、水産物の品質制御に関する実習を指導する。
	海洋生物資源学科　計	46	